

議会のあり方調査特別委員会 条例等検討分科会 記録

開会年月日	平成31年2月13日
開会時刻	午後3時00分
散会時刻	午後3時40分
出席委員名	◎鈴木豊司 ○福井輝夫 中村 功 楠木宏彦
	世古 明 辻 孝記 藤原清史 小山 敏
	世古口新吾
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 政策立案について
	2 具体的検討項目の追加について
	3 その他の事項について
	4 次回の会議について
説明者	木下議事係長、森田書記

会議の概要

鈴木会長が開会を宣言。その後、直ちに会議に入り、「政策立案について」、「具体的検討項目の追加について」及び「その他の事項について」を議題とし、協議を行った。

その後、次回の会議について協議し、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 政策立案について

会長から、前回までの協議内容の確認があり、1月28日及び29日の視察の振り返りについて各委員に意見を求めた後、今後の方向性として、本市議会としての政策形成の仕組みづくり、政策形成サイクルを検討していく必要がある、次回改めてイメージフローを提案する旨の説明がされ、特に異議なく確認された。

【発言】（視察の振り返り）

- ・中村委員「視察先では、政策立案できるくらい議員の能力が高かった。本市議会で同じことをやろうとしてもいきなりは難しい。政策立案ができる能力を育てていくには、議員そのものが自由討議等で自分の意見を出し合い、まとめていく必要がある」
- ・世古委員「手法はいろいろあるが、議会・委員会としての土壌づくりをしていけば、自ずと政策立案になっていくのでは」
- ・辻委員「これから委員会等で目玉になるような条例づくりを考えていかなければいけない。また、我々自身がもっと積極的に提案をしていくような雰囲気をつくっていく必要がある」
- ・小山委員「財政規模・事務局体制が違うため、視察先のまねをするのは無理かもしれないが、取り入れるべきところは、取り入れていくべき。会派を超えて、一つのテーマで勉強会を立ち上げ、政策をまとめていくのはよい手法である。やれるところからやっていきたい」
- ・世古口委員「視察先では議員の資質の向上、事務局体制が進んでいた。身近な問題点を抽出し、考えていくことは初歩的であるが大切なこと。そこを議論し、進めていけばよい。出発点は有志の議員で、会派を超えて議論していきたい」
- ・藤原委員「伊勢市としての条例をつくっていくことは大切。そのために議員として、いろいろ勉強していかなければいけない。有志の議員で抽出した問題に対して、本市議会としては常任委員会に移管して協議・提言を行うのもよい」
- ・楠木委員「視察先では、委員会で提案されていたが、全員が意見を一致していれば問題ないが、本市議会では難しい。まずは、共通の問題意識を持つ議員同士が超党派で集まり、勉強会を始め、広げていけばよい。そういった雰囲気を醸成していく必要がある」
- ・鈴木会長「議案の提案権は、委員会・議員の二つある。議員個人である場合は、それぞれ進めていけばよい」

2 具体的検討項目の追加について

会長から、1月16日の企画調整部会において、「長期欠席議員の取り扱い」及び「議会BCP」について、議会のあり方調査特別委員会で議論していくこととなり、この2件については、本分科会の具体的検討項目に追加され、協議していくこととなった旨の説明がされ、諮ったところ、特に異議なく確認された。

また、「議会BCP」については、いつ災害が起こるかわからないため、優先課題としていくことが確認された。

3 その他の事項について

会長から、「議決すべき事件に関する条例」について、本分科会での決定内容が平成30年9月11日に開催された議会のあり方調査特別委員会で承認されていたが、当局から、発言する立場にはないものの、時間的余裕がほしいとの申出があり、12月定例会への上程は見送っていた。改めて確認したところ、最終的な結論に至っておらず、3月定例会への上程は待つて欲しいとの回答があり、もう少し時間がほしい。当局の結論が出次第、本分科会での協議を願い、企画調整部会及び議会のあり方調査特別委員会に上げていきたいため、御了承をいただきたい」旨の説明がされた。

その際、小山委員から「延ばすことはやぶさかではないが、我々議会は当局の下請機関ではないため、言いなりになる必要はない」との発言があった。

また、楠木委員から、予算・決算特別委員会のあり方について、分科会方式ではなく、従前のやり方を検討すべきとの発言があり、会長から「議会のあり方調査特別委員会にて当分の間、分科会方式を採用していくことが決まったばかりであり、続けていきたい。時期が来れば、議論していきたい」旨の説明がされた。それに対して、辻委員から「突然変えることになるといけないため、議論していくべき」との発言があった。

4 次回の会議について

【開催日時】 3月29日（金）14時

【協議内容】 政策立案について、議会BCPについて

上記署名する。

平成31年 2月13日

会 長